

令和 3 年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	内藤
全体計画		平成27年度		～	令和 2年度	経費区分		—		内線		3645
事務事業名		12602 すこやか相談事業										
所 属		300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策		12020900 子育て環境の充実										
予 算		01 一般会計										
科 目		030201 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費										
事 業		070000 すこやか相談事業										
事業目的						事業概要・効果						
3歳児健診以後、小学校入学までの間の児童の発達の状況を早期に把握し、発達障がい疑われる児童とその保護者に対し、早期療育支援等子育て支援を的確に行うとともに、幼稚園・保育園へも支援を行い、児童の就学に向けて総合的な支援を行う。						平成18年度から子ども課に専任のコーディネータを配置し「すこやか相談事業」を実施。5歳児童全員のアンケート調査（保護者・クラス担任）を基に各園を巡回する中で、個別に支援が必要な児童を早期発見し、療育教室へ繋げるなど早期支援を行う。併せてアンケートで児童の心配な点を上げてきた保護者全てに、スタッフから、現在の児童の姿を伝えるなど保護者への支援も実施。小学校に入学後も個別配慮・支援、継続観察が必要と思われる児童については、小学校へ引き継ぐとともに巡回を実施。幼・保・小が連携し、一人ひとりの児童に寄り添い継続支援ができる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回	・発達アンケート(5歳児保護者、5歳児担任)の実施 ・巡回 5歳児、6歳児、小1 ・すこやか教室の実施 ・心理、個別相談の実施 ・すこやか相談事業研修会の開催 1回
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指 標 名	無し					
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		6,595	7,234
特 定 財 源	国庫支出金	1,831	2,744
	都道府県支出金	1,831	2,744
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,933	1,746
人 員 数 (人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	2.2	2.2
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	5,574.4	6,271.2
	嘱託職員	6,927.8	6,927.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	12,502.2	13,199.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		19,097.2	20,433.0

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	171	臨床心理士謝礼165、すこやか相談研修会講師謝礼6
10節 需用費	27	すこやか教室教材費27
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,397	すこやか相談コーディネータ及び保健師報酬 5,540、共済費 854、郵便料 3

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	250	臨床心理士謝礼 165、すこやか教室謝礼 55 すこやか相談研修講師謝礼 30
10節 需用費	50	すこやか教室教材費 50
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,934	すこやか相談センター及び保健師給料4,643、職員手当等1,071、 共済費1,193、旅費22、郵便料等5

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	3歳児健診以降、小学校入学までの間における児童の発達の状況を早期に把握することで、適切な成長過程支援と保護者支援を図っている。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	発達障がいや早い段階からの支援により、その後の成長に大きな効果があるとされる。きめ細かい対応により幼・保・小の切れ目ない連携が構築されている。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	対象者把握と成長過程の検証を行うためには、複数回の訪問による目視確認と職員への細かい聞き取りが必要であり、効率性向上の要素が少ない事業である。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

幼・保・小のきめ細やかな連携により事業を行っている。引き続き、保護者支援については園と連携し、学校側との連携についても、指導主事、教育相談員との情報共有を図り進めていく。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
発達障がいと疑われる児童の早期発見、早期支援を的確に行い、就学に向けた継続的な支援を保護者も含め行う必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
児童の発達の状況を早期に把握し、適切な成長過程支援を行っている。幼・保・小のよりきめ細やかな連携により事業を推進していく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	